



〈国際医療福祉大学〉
村上 由真 さん

今回初めて傍聴させて頂いた議会は、私が高校生の際に全校生徒で行った生徒総会に質問方式や答弁の仕方が似ていると感じた一方で、議会は全市民の代表である議員で構成され、運営方針や仕組みが複数あることなど、今回をきっかけに調べてみて分かったことも多くありました。議会で挙げられていた時代や市民の生活背景に合わせた様々な視点からの解決策は、これからの大田原市を支え、より良く変えていくのだと思いました。そのためこの議会こそが未来の大

田原市を作る取り組みの第一歩であるのだと実感した時間でした。



〈国際医療福祉大学〉
清水 智也 さん

私は、体験実習の際に初めて議会定例会を傍聴させて頂きました。大田原市の学校に通っていないながらも議会の傍聴は今回が初めてでした。実際に傍聴してみると質問の一つ一つが生活に密着しているのもっと詳しく聞きたいと思うような内容ばかりでした。市民の代表として、市民の声を聞き、大田原市全体の発展のために取り組んでいるのが伝わってきました。私も、一市民としてこれから大田原市の取り組みに貢献していきたいと思っています。



〈国際医療福祉大学〉
大木 涼世 さん

私は、体験実習で大田原市の福祉事務所にお世話になりました。その体験実習の際に、初めて議会を傍聴させて頂きました。私は、大学で医療・福祉について学習している。そのため、質問事項のなかの福祉について関心を持った。医療・福祉分野の議題でも、市の財政状況、周辺市町村との連携、費用対効果などさまざまな分野の知識が求められていると感じ、市の執行部、議員の方々の苦労を拝見することができた。これらの大田原市のために活躍する方々のお陰で、私たちは、快適に生活ができるのだと改めて感じた。また、私たち市民には、市長や議員の方々を選任する選挙権を有している。大田原市の現状、課題、今後の進む道を知るために必要な場であり、私たちは活用すべきであると改めて痛感した。同時に、私たちにも大田原市のために出来ることは何かと考えさせられる場となった。最後に議会傍聴を通して、大田原市のために、多くの人が様々な面から携わっていることを知りました。今後も市長及び執行部の方々、議員の皆様の活躍を期待しております。



〈国際医療福祉大学〉
佐藤 隼斗 さん

私は、大田原市福祉事務所での体験実習の一環として、今回初めて、議会定例会を傍聴させて頂きました。学校教育や福祉施策等の様々な事業についての議論が交わされる様子を拝見して、議会関係者の熱意ある姿勢に感動いたしました。そして、一般質問に対する討論は、市民に寄り添った市民のための内容で、市が各事業に対し、具体的にどのような方針で事業を行っているかなど、大田原市を深く理解することが出来ました。これからの大田原市をより良くしていくためには、市職員や議員の方々だけではなく、私たち市民が、自分の住む街について知り、自分の考えを持つという自主性が不可欠になってくるのではないかと感じました。今回の貴重な経験を活かし、私も市民の一人として大田原市に貢献できるように、自ら成長につなげていきたいと思っています。